

●日 時 : 11月11日(土)

●ポイント; センブリとリンドウを求めて

●集合場所: 二俣尾駅

●集合時間: 9時30分

青梅発9:14 二俣尾着9:26

●観察場所: 吉野山園地、梅の公園他

●持ち物 : 弁当・雨具・飲み物・ルーペ等の観察用具

●参加者 : 浅井さん、深川さん、渡辺さん、山下さん、武藤さん、宇津木(ガイド)さんの計6名

●下見 ; 11月2日 3名で実施済み

◆ルート散策

来年の三月に予定している吉野梅郷梅まつり 「吉川英治がこよなく愛した吉野梅郷とフキノトウ摘み」のルートに沿って体調を壊した私に代わりに、急遽、宇津木さんにピンチヒッターの解説して貰えました。感謝!!

11月の観察会の目的の吉野山園地のセンブリとリンドウは電話で咲いている場所を知らせたのですが、見つけることが出来なかったとのこと、伝えることの難しさを実感しました。(*-*)(*_ _)ペコリ

でも吉川英治に原稿を受け取りに来たかつての雑誌社や新聞社の記者が奥多摩橋からの景色を絶賛した、今の写真を宇津木さんに送って貰えました。

奥多摩橋からの吉野梅郷



道路側から見た奥多摩橋



昼食後に梅の公園の一番高い第二東屋と東側の第三東屋の間でセンブリを見ることが出来たとのことで良かったです。

センブリはリンドウ科センブリ属に入る絶滅危惧種の植物です。由来は千振と書くように煮出した液を「千度降り出し」が略されて名付けられました。

ゲンノショウコやドクダミとともに三大民間薬の一つとして苦み胃腸薬として使われてきました。ドクダミは何処でも見かけ、ゲンノショウコはチョット探せば見つかりますが絶滅危惧種となったセンブリ



はナカナカ見つけることが出来ないのので花を見られてラッキー！！

其れではここでワンポイント！

左の写真は下見時に吉野山園地で見たセンブリの一年目のロゼット状の根生葉です。ここでセンブリは2年草で一年目は蕾を付けず二年目に初めて花を咲かせて枯れてしまいます。そこで花を付けているセンブリの傍に一年目のロゼットが無いか探すと来年の楽しみが大きく膨らみます。

ロゼットとはバラの花びらの配列を言い、草本植物では極端に短い茎から葉が地面に水平に出て扁平なバラの花びらのように成ります。

冬の寒さを逃れるために地面にへばりついてロゼットを作る草本植物が多いのですが、花の時にロゼットが残るか否か等で種類を判別できるものも有ります。



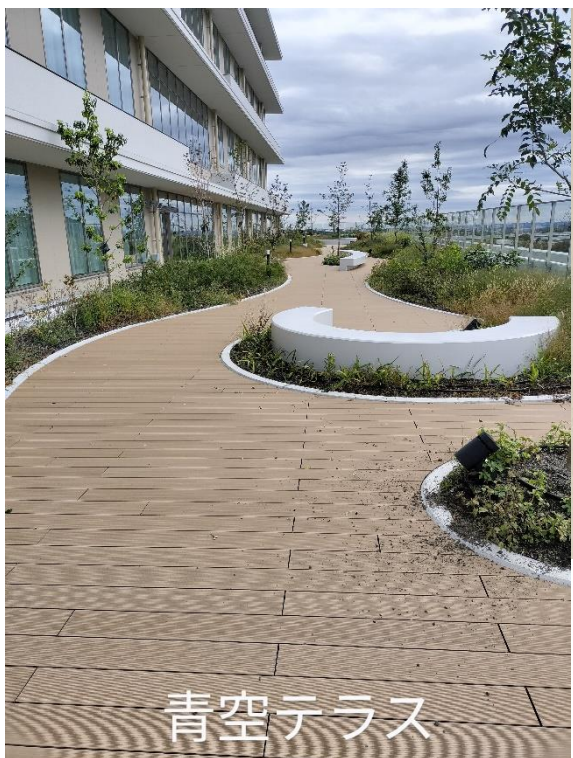
良く見るオオバコやタンポポは何時もロゼットで過ごし、花茎のみが立ち上がります。ロゼットだけを着目しても変化のある植物の世界がグングン広がるので楽しんでください。

左記は下見時に吉野山園地で見た吉川英治が好んだリンドウです。

文子夫人の一文に花といえば、あでやかな大輪よりも、ひっそりと野に咲く可憐な花が主人の好みでございました。なかでも、リンドウは、その青紫の花弁の初々しさと清楚なたたずまいを、ことのほか愛でていたようでございますと書かれています。

〇さんに送って貰った資料より。

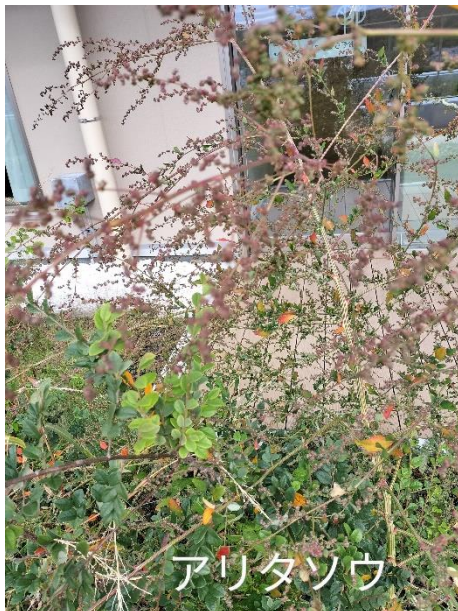
11月は会員の協力のもとに観察会が出来、本当に有難うございました。



青空テラス



新しく出来た青空テラスの植え込みに生えていた、いわゆる雑草と呼ばれる植物のたくまじき写真を紹介します。良くもここまで多くの帰化植物がいきづいていると感心しました。脱帽！！



アリタソウ



ハキダメギク



センナリホオズキ



クワクサ



イチビ



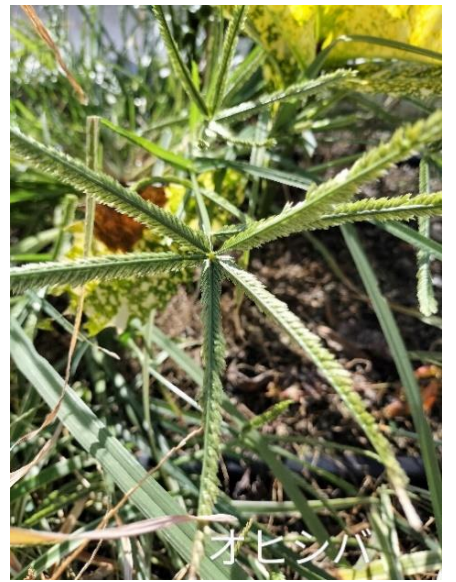
ヨモギ



ツルノゲイトウ



アメリカセンダングサ



オヒンバ



オオイヌノフグリ



メリケンカルカヤ



エノコログサ



コニンキソウ



コメヒシカ



クルマバザクロソウ

これまでの観察会では見ることが出来なかった種も有ります。

これからもしっかり観察しなければと実感！！

皆さんは何種類の種名が解りましたか？

そして次回の観察会で一緒にワイワイと楽しみたいと思いました。

解説無しの羅列の紹介で失礼しました。

2023.11.17 越前記



アメリカフウロ